

レクリエーション かながわ

# スコール

(S C O L E)

発行日 平成 5 年 8 月 16 日  
事務局 〒 221  
横浜市神奈川区三ツ沢  
西町 3-1  
神奈川県立スポーツ会館内  
電 話 (045) 320-2430

内 容 ・第10回全国一斉ウォークラリー神奈川県会場  
・全国レク東京大会  
・H5・6年度県レク役員

発行・神奈川県レクリエーション連盟／編集・専門(会員)委員会



みんな元気で楽しい一日を！ 第7回かながわレクリエーションフェスティバル  
1993. 6. 27 (篠崎理事長写す)

## 時 評

生涯スポーツ推進  
を 目 指 して

県レク連会長 船田幸一

本県では二年前に「生涯スポーツ振興会議」が、県、市町村の行政機関、スポーツ団体や大学、民間を含めた幅広い組織の代表者で結成されました。当レク連盟は、この会議の協力団体として、本県生涯スポーツ普及振興のための一翼を担っているわけです。

その具体的な事業として、昨年 から当連盟に対して多額の助成がなされ、普及振興と指導者派遣の二つの事業が実施されました。本連盟加盟団体の種目、地域合わせて三十三団体の組織育成への助成と、二つの全国大会への指導者派遣費、補助並びに本県としては第一回の県スポ、レク祭が、平塚市を会場に開催されました。

本連盟としては、今後も廿一世紀を目指して県が進めている「ヒューマニティ豊かなスポーツライフの実現」を目指した「かながわスポーツプランの推進」事業に組織を挙げて協力し、本県レク活動の一層の推進を図りたいと思えます。最後になりましたが、

去る五月、植村前会長の後を継ぐ事になり、よろしく申し上げます。

第十回 全国一斉ウォークラリー

横浜・川崎・横須賀 神奈川県内三会場大会

五月の第三日曜日はウォークラリーの日

五月十六日の第三日曜日、全国一斉二一五会場で十五万人が参加して開催。神奈川県内は、横浜・川崎・横須賀の三会場で行われ、約一、〇〇〇人が参加して、ウォークラリーを楽しんだ。

全国一斉ウォークラリー大会川崎レク連盟の自慢は、第一回から第十回まで開催出来た事である。

今回も三〇〇名弱の参加があり、市民の皆さんの楽しみの一つとなっている。今回は鎌倉古道コースとカタひら川コースで実施。参加者の中には鎌倉市内を歩くのかと心配する声も……ゴールの川崎市青少年黒川野外活動センターではとん汁のサービスに、暑い熱いといいながらせ舌づつみ。

参加者、スタッフの中には、毎



川崎会場です



あーいって こーいって フムフム…(川崎)

回参加の記録保持者もいるとか。暑い楽しい一日でした。

川崎市レクリエーション連盟 (吉沢)

第十回全国一斉ウォークラリー大会、無事終了しました。

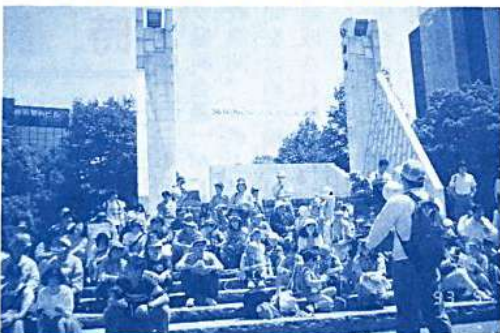
横須賀で開催するのは、第一回、第三回、第四回、第七回、第八回そして今回と、六回目の開催となります。いずれの大会も横須賀レク指導者の力を結集しての大会、今大会は八十一チーム、二七九名の参加(スタッフ四十一名)です

が、今回の大会は、レク協会がまだ組織されていない、三浦市をゲレンデに開催しました。三浦市教育委員会やヒューマンネットワークの方々、そして三浦半島地域野菜協議会の温かいご協力で、大勢の三浦市民に、ウォークラリーを楽しんでいただくことができました。これを機会に、三浦市にもレク協会ができると良いですね。

今回も一〇〇%ボランティアで実



これもオマケしちゃおっと (横須賀)



オーイ こっちは横浜会場だゾー!



ウワッ関帝廟だ! (横浜)

施していますが、参加者の募集等に、もっと行政の応援があってもいいのかも知れません。横須賀市レク協会 (岸)

## 第47回 全国レクリエーション東京大会

「生き生き健康づくりと活力ある地域社会の創世」をめざして

今秋九月二十四～二十六に東京多摩地区を中心に開催される、第四十七回全国レクリエーション東京大会。大会の名称が「全国レクリエーション研究大会」から、以前「全国レクリエーション大会」に変更になりましたが、本質的には変更はなく、福岡大会以来の「研究大会」を続行することになっています。親目別部会もそうですが、領域別部会では特にこのことを、しっかりと守りたいとの意向です。社会的評価を高めるためにも、過去の研究の上に、更に新たな研究

の積み上げができるようにしたい。研究大会が「集いや交流」で終わらないようにしたいと考えて準備をすすめているようです。

大会の内容は、地域・職域・福祉・学校・レジャー・余暇開発・子ども遊びの七つの領域別部会と、ターゲットボードゴルフなどのニュースポーツ、ミニテニス、テニスバットなどニュースポーツ開発などで、総種目二十二種目から成る種目別実践活動部門で、三日間にわたって、研究・実践活動が展開されます。生涯スポーツの振興と活力ある地域社会の創造を目ざして、意義深い大会になるものと思われれます。

### スポ・レク祭ちば'93

ふれあいスポーツの一大祭典、第六回「全国スポーツ・レクリエーション祭」は十一月十三日から十六日までの四日間、千葉県で開催されます。今大会で六回目となります。スポレク祭も毎回多くの出展者とふれあいのドラマを作っています。今大会も「出会いと挑戦・友好と交流の輪」が大きく広がることでしょう。

神奈川からもたくさんの方の仲間参加が予定されております。

### 第二回神奈川

#### スポーツレクリエーション大会

【十二月二十一 平塚総合運動公園】

昨年に引き続き第二回神奈川県スポーツ・レクリエーション大会が、平成五年十一月二十一日(日)、会場も同じく平塚市総合公園で開催されます。内容についてはまだ未定ですが、ニュースポーツを中心とした、種目別部門は昨年同様実施されるものと思われれます。

## よろこびを広げよう! -二宮町-



### 週1回の心休まるひととき

よるこんでくれます。また、八月の盆踊りは、老若男女、小さな子供達も含め、何百人もの人が、三日間も踊り楽しめます。最後の夜は母に手をひかれ、それぞれ家路につき、光景がほほえましく思われ、来年もまた、という思いにかられます。

写真はその時の一コマです。もう一枚は、次の発表会にむけての練習、みなさんの真剣な顔・顔・顔です。

(二宮町レクリエーション協会)



### わ、輪、和!!

私達の町、二宮レク協会の仲間、皆、和氣あいあいと活動しています。

年間を通じて、色々な催しがあり、その都度踊りに行きます。中でも、身体の不自由な方々を招待する行事は、たくさんの方々の仲間の方々が拍手で迎えてくれます。目の不自由な方も、一曲ごとに

# 事務局だより

## 日本レクリエーション協会 情報より

○注目を集めながら第一期のレクリエーションコーディネーターが四月一日付で誕生しました。第一期資格取得者は、旧上級指導者の方々です。全国では二四六名、神奈川県では二十二名です(後記)。

レク・コーディネーターは「人材養成マスタープラン」によると、「レクリエーションの考え方と技術を身につけた生涯スポーツの指導者として幅広い領域で活動する専門職」です。生涯スポーツ分野に新風を吹き込む社会体育指導者という位置づけに対しては、特に旧上級指導者についてはスポーツの領域に留まらずいままでの実績をもとにした多彩な活動が期待されています。○県内合格者 米倉菊治郎・益子原敏・英徑夫・吉沢和雄・熊坂實・篠崎明弘・岸正晴・堤且生・兼松ムツミ・藤野和子・佐藤節子・蟬山優二・小泉八重子・別府和子・北見俊則・井上桂・安藤和徳・笹野隆・深津米男・越智三王・池端正直・波多野良子

# 県レク情報

## 植村恭作会長が勇退

長い間、当県レク連盟のご指導をくださった、植村恭作会長が後進に道をゆずって会長を勇退されることになりました。新しい会長には船田幸一副会長が就任されました。植村会長、長い間のご指導を感謝いたします。

船田会長、これからのご指導をよろしくお願いいたします。

## 《特別委員会》

○選考委員会

○認定委員会

委員長 池端正直

○公益法人化準備委員会

委員長 鈴木 司

《専門委員会体制》

○公認指導者会員委員会

委員長 藤野和子

○事業企画委員会

委員長 岸 正晴

○指導者養成委員会

委員長 若木一美

## 平成五年度 六年度県レク役員

- 〈会長〉 船田 幸一 (藤 沢) 小林 正和 (歩け歩け協) 古郡 有正 (クラウンドゴルフ協)
- 〈副会長〉 鈴木 司 (茅ヶ崎) 牧野 幸江 (ラジオ体操) 白須 信義 (オリエンテリング協会) (逗 子) 高木 和男 (クラウンドゴルフ協)
- 〈副会長〉 (秦 野) 小田切純一 (厚木市・インディアカ協会) (大 和) 渡辺 カツ (ベタンク協会) 藤野 和子 (相模原市) 篠崎 明弘 (伊勢原) 三瓶ミネ子 (3B体操支部) 小川 陽子 (相模原市) (海老名) 倉橋 則康 (インディアカ協) 湯山 臣 (理 事) (大 磯) 植松 米子 (県 スポーツ課) 吉松 徹 (茅ヶ崎) 青野 和夫 (二宮町) 竜崎イエ子 (横浜市) 英 徑夫 (愛川町) 森田マサエ (川崎市) (磯 田) 正晴 (民踊連) 飛田奈加子 (横須賀市) 岸 正晴 (F D連) 高橋 慎市 (平塚市) 藤田 早苗 (家庭連) 金子 郁代 (鎌 倉) 若木 一美 (家庭連)

インディアカ協会  
県レクに正式加盟

神奈川県インディアカ協会(会長 牧田 勝)が種目団体として加盟が承認されました。  
事務局 〒250小田原市飯泉111梅本明方 ☎04六五78911 (四七) 三四一五 (野本)

# 事務局日誌

私達事務局員は皆様方のご協力により一年が経過、仕事にも慣れ、今年こそは張り切って頑張ろうと所が会員の中には、事務局の実態や状況、気持ちを理解してくれない方がおられ残念です。日レクも今年機構を改革し、Coordinator, Instructor と名称を改めたので増々指導力が問われます。ホットした気持ちで、新緑に目を向ける暇もなく、書類に目に向けてしまおう。(三浦)

## 編集後記

同じ季節がめぐってくると、いつのまにかかわった自分に気づいて、おどろくことがあります。それで気がしませんでした。肩の力を抜いたり。長年自分とつきあってきたつもりなのに、ちっとも自分のことがわかっていないなあとちよっぴりため息をついたり。きつとそんな簡単にみつかれるものじゃないですよ。自分さがしはまだまだ続きます。そんなおり、最近みかけた「自分史作り」の書き出しを思い出した。生活のシフト作りに通じるものが。 Poco a Poco (少しずつ) (野本)